令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	16

担当課	健康課	担当課長	大嶋　昌広
事業担当者	石橋　愛	一次評価者	持松　可奈子
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	乳幼児・学童歯科保健事業		
予算科目	4 款 1 項 6 目		
予算事業名	歯の健康対策費		
総合計画での位置づけ（施策名）	安心な子育て環境をつくる		
事業の性格	法定事務		
法令根拠等	–		
事業の対象	乳幼児から中学生		
事業の目的	乳幼児期からフッ化物を使い、むし歯になりにくい強い歯をつくるとともに、ブラッシング指導を始めとした、歯の衛生教育を通して、生涯を通じて歯の健康状態を向上させる。		
実施期間 開始年度	昭和　59　年度から		
実施期間 終了年度	令和　　年度まで		
事業の内容	乳幼児期から歯科健診、ブラッシング指導およびフッ素塗布を定期的に行うことで保護者の歯の健康に関する意識付けを図っている。フッ素洗口は幼稚園、保育園、小学校で、ブラッシング指導においては中学校まで継続して実施している。また、学校歯科医、九州大学、学校、幼稚園、保育園と歯科保健連絡会を行い、事業の評価と内容の検討を定期的に行っている。		

目的達成の指標（成果指標）

12歳の永久歯の一人当たりむし歯保有数

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	人	0.5	0.5	0.5	0.5
実績	人	0.33	0.40		

指標設定の考え方	久山町の歯の健康づくりの目標の一つに「12歳児の一人当たりむし歯保有数を0.5本以下に」と掲げているため。
計画時の懸案事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、園及び学校での歯みがき・フッ素洗口の実施機会が減少している。また、自宅待機による不規則な生活や間食回数の増加、歯科受診の頻度減少により、歯の健康づくりに対する意識の低下が懸念される。 中学校のフッ素洗口導入に向け、生徒及び保護者が安心してフッ素洗口を実施できるよう、感染対策も含めて説明を行う必要がある。
計画時の懸案事項への対応	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係機関と連携を取りながら安全に実施できるよう配慮した。ブラッシング指導においては、自宅での歯みがきを継続できるよう年齢に応じた指導を行い、歯の健康に対する意識の向上を図った。 中学校でのフッ素洗口導入では、事前に生徒及び保護者の不安や疑問点を確認し、理解を得た上で導入することができた。

PLAN（計画）

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　423 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.39	0.31	0.31	0.31
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	2,984	2,225	2,448	2,448
事業費	直接事業費	745	1689	1978	1978
	人件費	2,984	2,225	2,448	2,448
	合計	3,729	3,914	4,426	4,426
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,729	3,914	4,426	4,426
	合計	3,729	3,914	4,426	4,426

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	745	1,689	1,978	1,978	1,978
実績	685	1,559			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
幼児歯科健診受診数	人	340	340	340	340
		266	385		
フッ化物洗口実施者数	人	879	879	1,110	1,110
		874	1,134		
園児ブラッシング指導数	人	246	246	246	246
		247	213		
学童ブラッシング指導数	人	380	380	380	380
		110	0		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　404 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.39	0.31	0.31	0.31
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	2,984	2,225	2,176	2,448
事業費	直接事業費	685	1689	1559	1978
	人件費	2,984	2,225	2,176	2,448
	合計	3,669	3,914	3,735	4,426
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,669	3,914	3,735	4,426
	合計	3,669	3,914	3,735	4,426

実施備忘録

幼児歯科健診、歯面健診、ブラッシング指導・フッ素洗口

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	石橋　愛

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

乳幼児から中学校卒業まで継続して歯の健康づくりに取り組むことで、子どもと保護者双方に歯の健康に関する意識付けを図ることができている。また、学校歯科医・九大歯学部・養護教諭・幼稚園・保育園・歯科衛生士・健康課とで町の歯科保健事業に関する評価や課題の共有、それらに対する方法の検討を行うことで円滑に事業を行うことができている。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

令和3年度の12歳児のむし歯保有本数は0.5本と町の掲げる目標を達成している。
新型コロナウイルス感染症の影響より歯の健康づくりに対する意識の低下からむし歯の保有数の増加したことが考えられる。引き続き、所属園・学校の協力を得ながら、感染症対策を講じた上で歯の衛生教育を継続していく必要がある。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	持松　可奈子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

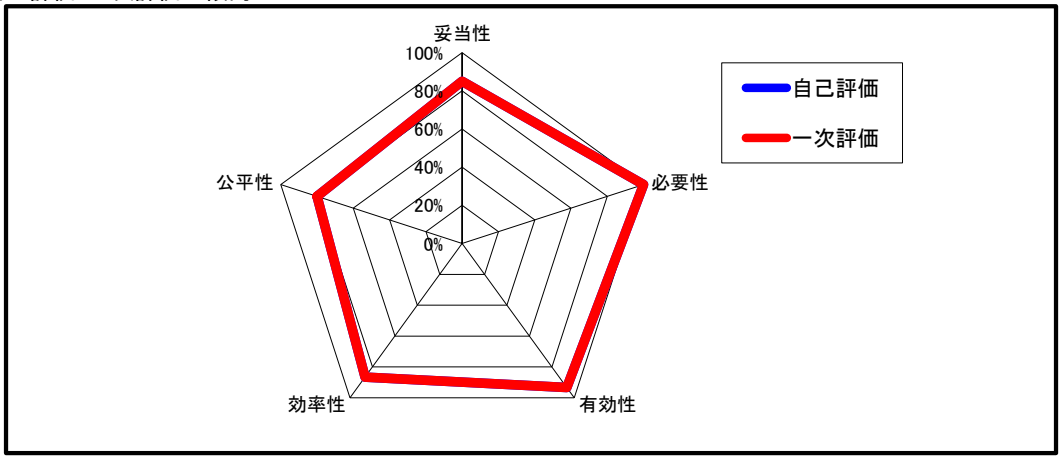
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

乳幼児期から中学校卒業まで一体的に歯の健康づくり事業に取り組んでおり、関係機関と十分な連携を図ることができている。事業の成果や必要性について周知を行うとともに、セルフケアが促進されるよう関係機関の協力のもと啓発を継続的に実施する。
また、コロナ禍に対応した安全な事業運営を引き続き行う必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	大嶋　昌広

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

乳幼児期から中学校卒業まで一体的に歯の健康づくり事業に取り組んでおり、関係機関と十分な連携を図ることができている。事業の成果や必要性について周知を行うとともに、セルフケアが促進されるよう関係機関の協力のもと啓発を継続的に実施する。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）